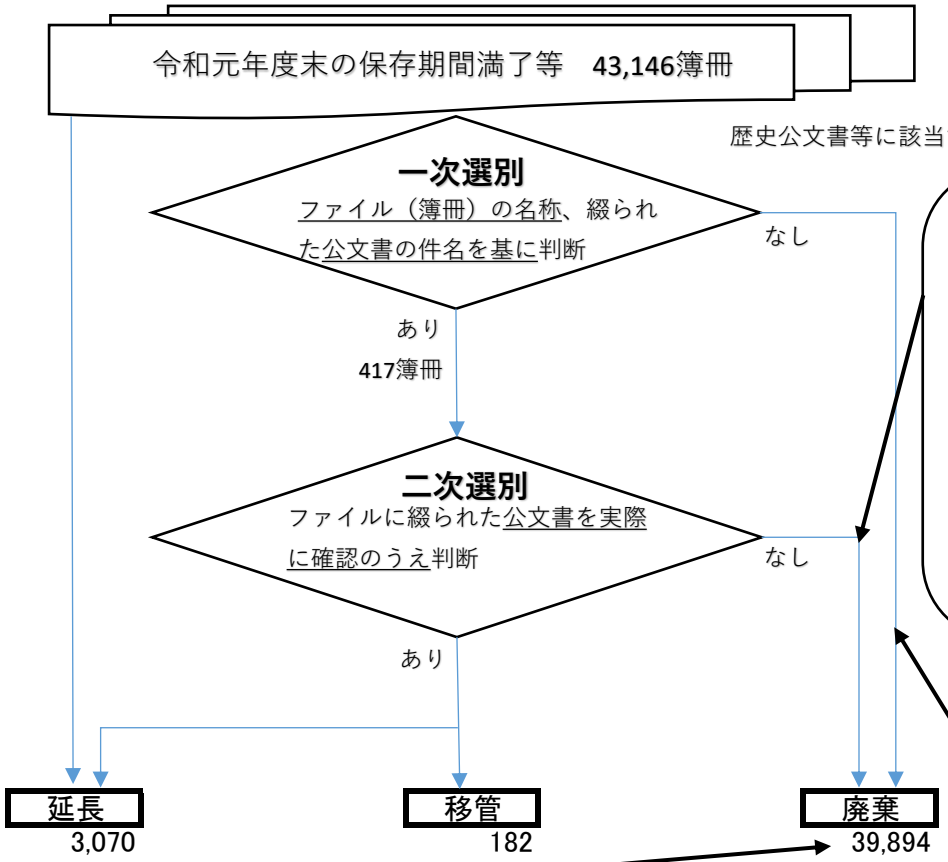
令和2年度に廃棄しようとする公文書ファイル等の選別プロセスと、審査会での審査方法（案）

資料４



審査その1案　二次選別は適切だったか？

【対象】二次選別の対象とした417簿冊のうち、移管としなかった235簿冊（選別後に保存期間が延長されたものを除く）

【方法】対象簿冊に綴られた公文書の名称も参照いただきながら、移管としなかった理由を中心に、「廃棄」の判断が適切かどうかを審査いただく

審査その2案　一次選別は適切だったか？

【対象】令和元年度に保存期間が満了したファイルの大半を占める、平成21年度作成の10年保存ファイル（約18％）と、平成26年度作成の5年保存ファイル（約60％）

【方法】平成21・26年度における県の重要事業、重大な事件に関し、歴史公文書等該当性について一次選別で議論のあった簿冊を抽出し、二次選別の対象とした判断が適切であったかを審査いただく

審査その３案　その他選別全般について適切だったか？

【対象】「廃棄」とした簿冊全般

【方法】上記２つの審査以外に、お気付きの視点から「廃棄」の判断が適切かどうかを審査いただく